

◆『校種間（小・中）連携による子どもの生活習慣づくりの取組』
小・中PTAの合同行事をきっかけにできた生活習慣作り
～地域を巻き込んだ小・中合同バザー～

北九州市立高見小学校 PTA

1 高見小・中学校校区

北九州市八幡東区に位置し、市内のほぼ真ん中に校区がある。小学校は、板櫃川と高見の森という山に挟まれた場所にあり、中学校は、高見の森の山の頂上にあり、どちらも、都心の中では比較的自然に囲まれた環境の中にある。近年、高見地区（新日鐵社宅地）の再開発により、古い街と新しい街が共存し合って発展している地域である。

2 高見小・中合同バザーの経緯・目的

小・中合同バザーを始めた経緯は、中学校が山の上に位置するという地理的な問題もあり、バザーへの保護者や地域の方の参加が少ないという課題からである。小学校でPTA役員を経験された方々の「小・中で一緒にできないか」という意見から始まった。

参加者の増加を目的として始めたが、小・中合同のバザーの担当委員会やPTA役員の会議を進める中で、次のような目的をもって実施することを確認した。

- 小学校の保護者に中学校の様子を知ってもらう。
- 参加する子どもや保護者が達成感を味わい、小・中の壁を無くし子どもや保護者の交流をいっそう深める。
- 中学校でPTA役員・委員をしてくれる人材発掘の場とする。

3 生活習慣作りの内容

(1) 高見バザー

小・中学生がバザーを手伝ったり、バザーに参加したりすることで、小学生には中学生を敬う気持ちが、中学生には小学生を可愛がる気持ちが、それぞれ出てきたように思う。また、先生方の協力も年々増えてきた。中学生は、小学校で指導を受けた先生に会って、声をかけてもらえるということに楽しさを感じているようである。地域の方の協力もあり、小・中学生と地域の方々の交流も深まり、高見校区の一つの行事として親しまれるようになった。バザーが地域の中で大きな広がりを見せている。

(2) 「声かけて地域の宝 子どもたち」

これは、北九州市が作成し推進している「北九州市子どもを育てる十か条」の中の一つである。こうしたスローガンを実施すべく、高見校区では、地域、保護者、学校が一体となり、地域の宝である子ども達を見守る活動を行う「たかみん隊」という組織がある。



登下校の安全のための見守り活動はもちろん、あいさつなどの声かけを小・中学生に行っている。こうした取組を通して、地域が、子ども達の為に何かしてあげよう、してあげたいという気持ちが出てきた。

(3) 高見夏まつり

地域の方々が、子ども達に何かしてあげたいという思いから、5年前、地域、幼稚園、小・中学校、OB会を中心に校区内の公園で夏まつりが始まった。幼稚園児や小・中学生の参加はもちろん、地域の方々によるステージや、出店があり、内容も多彩である。まつりの企画は小・中学生を巻き込んで行い、まつりの手伝いを行う小・中学生もいる。小学生によるダンスや中学生による合唱など、ステージでも子どもたちは活躍している。

夏休み最後の土曜日に開催しているが、5000名近い参加があり、校区内外の方々に夏の風物詩として楽しみにしてもらっている行事の一つになってきた。フィナーレの花火は、間近で見ることができるということもあり大好評で、毎年豪華さがアップしている。

4 成果と課題

(1) 成果

行事や登下校の見守り、声かけの取組により、小・中学生や保護者、地域の方々の顔を合わす機会が増え、子ども達は、だんだんと挨拶ができるようになってきている。一日の始まりの「おはよう」というあいさつは、特に元気な声で言える子が増えてきた。

また、小学校でバザーの委員をした保護者が、中学校でも委員になるなど、人材発掘につながっている。さらに、小・中学生の保護者が一緒に達成感を味わうことで交流も深まっている。

そして、保護者や地域の方々が、「子ども」を中心として、更にいい関係や地域を構築しようという気持ちが高まってきた。

(2) 課題

共働きの家庭の割合が増え、行事を支えてくれる運営スタッフの数が少なくなり、一部の保護者に負担がかかっている。また、「たかみん隊」の方が高齢化している現状もあり、リタイアされた団塊の世代の方々の協力を得るなど、人材確保に向けた取組も必要である。

挨拶に関しては、小学生の高学年や中学生になるにつれ、あまりできていないという現状があり、いっそうの声かけなどの働きかけが必要である。

5 問い合わせ先

北九州市立高見小学校

TEL 093-651-0746

FAX 093-651-0747。